



(様式例第11)

鳥病経第350号
令和7年10月2日

鳥取県知事 殿

住 所 鳥取県鳥取市尚徳町117
申請者
氏 名 鳥取赤十字病院
院長 竹内 裕美

鳥取赤十字病院の地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、令和6年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒105-8521 東京都港区芝大門1-1-3
氏名	日本赤十字社 社長 清家 篤

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

鳥取赤十字病院

3 所在の場所

〒680-8517 鳥取県鳥取市尚徳町117 電話(0857)24-8111
--

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
床	床	床	床	350床	350床

5 施設の構造設備

施設名	設備概要
集中治療室	(主な設備) 病床数 11床 患者監視装置、人工呼吸器、除細動器、人工透析装置、IABP、体外式ペースメーカー、AED、体温冷却加温装置
化学検査室	(主な設備) 生化学自動分析装置、自動免疫学分析装置、自動血球計数装置
細菌検査室	(主な設備) 全自動細菌検査システム、蛍光顕微鏡
病理検査室	(主な設備) 病理検査システム、凍結切片作成装置、自動固定包埋装置、パラフィン包埋ブロック作成装置、自動染色装置、顕微鏡
病理解剖室	(主な設備) 解剖台、写真撮影装置
研究室	(主な設備) パソコン、机、椅子
講義室	室数 5 室 収容定員 100~200 人
図書室	室数 1 室 蔵所数 8,638 冊
救急用又は患者搬送用自動車	(主な設備) 保有台数 2 台
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 69.12 m ²

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

(様式例第12) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されている
ことを証する書類及び救急医療の提供実績

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率				
地域医療支援病院 紹介率		91.97%	算 定 期 間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
地域医療支援病院 逆紹介率		109.74%		
算出 根拠	A：紹介患者の数			8,821人
	B：初診患者の数			9,591人
	C：逆紹介患者の数			10,525人

(注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏 名	勤務の態様	勤務時間	備考
様式第 1 3 別紙					

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	2 3 床
専用病床	1 2 床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

様式第 13 別紙

No	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
1	医師		常勤・専従	8:30~17:10	
2	医師		常勤・専従	8:30~17:10	
3	医師		常勤・専従	8:30~17:10	
4	医師		常勤・専従	8:30~17:10	
5	医師		常勤・専従	8:30~17:10	
6	医師		常勤・専従	8:30~17:10	
7	医師		常勤・専従	8:30~17:10	
8	医師		常勤・専従	8:30~17:10	
9	医師		常勤・専従	8:30~17:10	
10	医師		常勤・専従	8:30~17:10	
11	医師		常勤・専従	8:30~17:10	
12	医師		常勤・専従	8:30~17:10	
13	医師		常勤・専従	8:30~17:10	
14	医師		常勤・専従	8:30~17:10	
15	医師		常勤・専従	8:30~17:10	
16	医師		常勤・専従	8:30~17:10	
17	医師		常勤・専従	8:30~17:10	
18	医師		常勤・専従	8:30~17:10	
19	医師		常勤・専従	8:30~17:10	
20	医師		常勤・専従	8:30~17:10	
21	医師		常勤・専従	8:30~17:10	
22	医師		常勤・専従	8:30~17:10	
23	医師		常勤・専従	8:30~17:10	
24	医師		常勤・専従	8:30~17:10	
25	医師		常勤・専従	8:30~17:10	
26	医師		常勤・専従	8:30~17:10	
27	医師		常勤・専従	8:30~17:10	
28	医師		常勤・専従	8:30~17:10	
29	医師		常勤・専従	8:30~17:10	
30	医師		常勤・専従	8:30~17:10	
31	医師		常勤・専従	8:30~17:10	
32	医師		常勤・専従	8:30~17:10	
33	医師		常勤・専従	8:30~17:10	
34	医師		常勤・専従	8:30~17:10	
35	医師		常勤・専従	8:30~17:10	
36	医師		常勤・専従	8:30~17:10	

No	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
37	医師		常勤・専従	8：30～17：10	
38	医師		常勤・専従	8：30～17：10	
39	医師		常勤・専従	8：30～17：10	
40	医師		常勤・専従	8：30～17：10	

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
救急外来	260.04㎡	(主な設備) 除細動器、超音波診断装置、患者監視用モニター	可
手術室	1,024.79㎡	(主な設備) 麻酔器、患者監視用モニター、カウンターショック、ポータブルレントゲン撮影装置	可
HCU	371.09㎡	(主な設備) 患者監視装置、人工呼吸器、除細動器、人工透析装置、IABP、体外式ペースメーカー、AED、体温冷却加温装置	可
放射線技術課	1,142.72㎡	(主な設備) 一般レントゲン、CT、血管撮影装置	可

4 備考

救急病院認定（鳥取県告示68号）

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。
既に、救急病院等を定める省令（昭和39年厚生省令第8号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について（昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知）に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	3,146人 (1,549人)
上記以外の救急患者の数	3,893人 (782人)
合計	7,039人 (2,331人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	2台
---------------	----

(様式例第14) 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用(共同利用)のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

様式第14-1 別紙

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

開放病床に係る病室(5床)

・高度医療器(CT、MRI、RI、骨塩定量(DEXA法))

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

ア 共同利用に関する規定の有無 ☒ 有 ☐ 無

イ 利用医師等登録制度の担当者 氏 名:

職 種: (事務員)

(注) 共同利用に関する規定が有る場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
-------	------	-----	---------	---------------------

様式第14-4 別紙

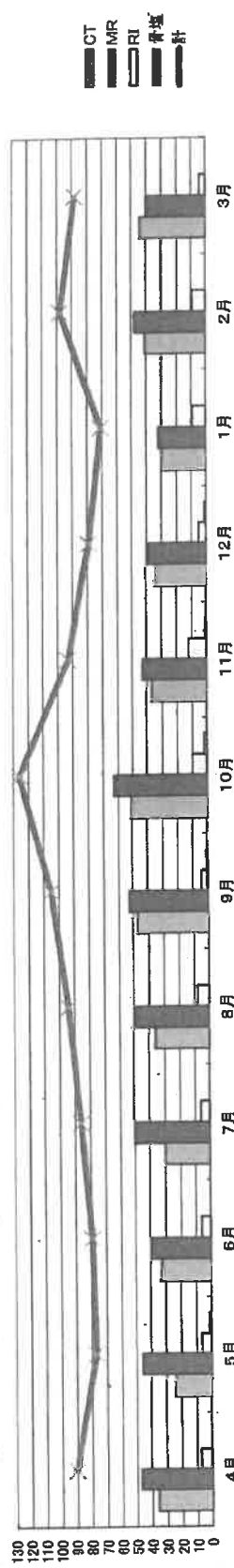
注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数

5床

CT/MR/RI/骨塩 月別件数

令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
CT	36	24	33	30	36	47	51	37	34	30	41	44	443
MR	47	46	40	50	50	53	63	43	39	32	48	40	551
RI	7	6	6	6	4	4	10	12	5	9	9	4	86
骨塩	0	1	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	6
	90	77	79	86	94	105	126	93	79	71	98	88	1,086



開放病床利用状況 R6,7年度

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
R 6	入院患者数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0.1
	新開放病床利用患者数 (再掲)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0.1
	入院延べ日数	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	0	20	1.7
	開放病床利用率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.9	0.0	0.0		1.1

R 7	入院患者数	0	0										0	0.0
	新開放病床利用患者数 (再掲)	0	0										0	0.0
	入院延べ日数	0	0										0	0.0
	開放病床利用率 (%)	0.0	0.0											0.0

開放病床利用率 (%) = 入院延べ日数 ÷ (開放病床5床 × 暦日数) × 100

入院日	開放病床 利用開始	登録医	病棟	主治医	退院日	開放病床 利用終了日	開放病床 在院日数	登録医 訪問日数
1 R6.12.31	R7.01.08	にしまち診療所 悠々	7東	脳神経内科	R7.02.10	R7.01.27	20	1

様式第14-4別紙

医科 登録医一覧

	登録医師氏名	医院名	郵便番号	住 所	電 話	FAX
1		安部内科医院	680-0841	鳥取県鳥取市吉方温泉3丁目811-2	0857-26-6675	0857-21-3131
2		石田医院	689-0501	鳥取県鳥取市青谷町青谷4032番地19	0857-85-0258	0857-85-0259
3		イナカ内科医院	680-0854	鳥取県鳥取市正達寺43	0857-24-5167	0857-24-5166
4		乾医院	689-0405	鳥取県鳥取市鹿野町鹿野1091-5	0857-84-2250	0857-84-2953
5		入江内科医院	680-0022	鳥取県鳥取市西町2丁目212	0857-22-3366	0857-22-3310
6		上田病院	680-0022	鳥取県鳥取市西町1-451, 453	0857-37-1177	0857-37-1882
7		加藤整形外科医院	680-0023	鳥取県鳥取市片原2丁目111	0857-22-7522	0857-27-6084
8		きむら耳鼻咽喉科医院	680-0845	鳥取県鳥取市富安1-76-2	0857-37-1611	0857-37-1612
9		こばやし内科	680-0872	鳥取県鳥取市宮長9-1	0857-51-7373	0857-51-7375
10		栄町クリニック	680-0831	鳥取県鳥取市栄町211-2	0857-21-3111	0857-21-7661
11		大戸医院	680-0804	鳥取県鳥取市田島716	0857-29-4410	0857-29-2876
12		たかすりウマチ整形外科クリニック	680-0874	鳥取県鳥取市叶288-1	0857-51-7115	0857-51-7116
13		竹田内科医院	680-0031	鳥取県鳥取市本町2丁目109	0857-22-4320	0857-29-6322
14		竹内内科医院	680-0031	鳥取県鳥取市本町5丁目202	0857-22-2317	0857-22-2318
15		たなかクリニック	680-0841	鳥取県鳥取市吉方温泉3丁目807	0857-24-1101	0857-22-1123
16		谷口医院	680-0814	鳥取県鳥取市南町425	0857-22-2332	0857-22-2338
17		田村内科眼科	680-0833	鳥取県鳥取市末広温泉町202	0857-22-0555	0857-22-4810
18		中島整形外科医院	680-0861	鳥取県鳥取市新93-5	0857-24-6511	0857-24-6512
19		なわだ内科クリニック	680-0802	鳥取県鳥取市青葉町3丁目101-2	0857-25-1155	0857-30-1001
20		にしうら皮膚科	680-0872	鳥取県鳥取市宮長258-1	0857-53-7180	0857-37-4005
21		西尾内科クリニック	680-0081	鳥取県鳥取市岩倉446-23	0857-26-6070	0857-26-6053
22		石谷小児科医院	680-0047	鳥取県鳥取市上魚町13	0857-22-3354	0857-23-4133
23		野津医院	680-0074	鳥取県鳥取市卯垣4-101	0857-22-8605	0857-23-5600
24		野の花診療所	680-0824	鳥取県鳥取市行徳3丁目431	0857-36-0087	0857-27-0087
25		橋本外科医院	680-0851	鳥取県鳥取市大杉204-3	0857-29-1281	0857-23-3449
26		はまゆう診療所	680-0924	鳥取県鳥取市野寺62番地1	0857-51-7800	0857-51-7810
27		早瀬医院	680-0036	鳥取県鳥取市川端5丁目106	0857-23-3357	0857-27-4762
28		福永医院	689-0501	鳥取県鳥取市青谷町青谷4306-11	0857-85-0953	0857-85-0954
29		藤田医院	681-0003	鳥取県岩美郡岩美町蒲富1030-22	0857-72-0123	0857-37-5025
30		前田医院	680-0811	鳥取県鳥取市西品治644-1	0857-37-0102	0857-37-0103
31		松岡内科	680-0909	鳥取県鳥取市賀露町南1丁目18-16	0857-31-3111	0857-31-3112
32		松下内科医院	680-0862	鳥取県鳥取市雲山113-1	0857-21-0002	0857-21-0077
33		まつだ内科医院	680-0874	鳥取県鳥取市叶284-1	0857-38-4777	0857-38-4778
34		宮本医院	689-0106	鳥取県鳥取市福部町海士359-7	0857-38-1300	0857-38-1301
35		もとだクリニック	680-0151	鳥取県鳥取市国府町宮下1165	0857-30-3711	0857-30-3717
36		やまね内科クリニック	680-0824	鳥取県鳥取市行徳1丁目317	0857-21-5111	0857-21-6615
37		横浜小児科内科医院	680-0003	鳥取県鳥取市覚寺56-1	0857-21-7000	0857-21-7007
38		よしだ内科医院	680-0941	鳥取県鳥取市湖山町北6丁目448-1	0857-31-1118	0857-31-1181
39		若桜柳坂医院	680-0701	鳥取県八頭郡若桜町若桜296-1	0858-82-0076	0858-82-0545
40		わくしま内科医院	680-0801	鳥取県鳥取市松並町1丁目128	0857-29-3333	0857-26-2160
41		岸本内科医院	680-0452	鳥取県八頭郡八頭町池田206-1	0858-76-0076	0858-76-0086
42		石井内科小児科クリニック	680-0944	鳥取県鳥取市布勢332-4	0857-31-1141	0857-31-2141
43		池田外科医院	680-0844	鳥取県鳥取市興南町8-2	0857-27-5151	0857-22-7461
44		おかだ内科	680-0845	鳥取県鳥取市富安2丁目149	0857-30-3750	0857-30-3751
45		下田神経内科クリニック	680-0045	鳥取県鳥取市大工町頭33	0857-32-7020	0857-32-7021
46		山脇医院	680-0063	鳥取県鳥取市園府町奥谷1-110	0857-23-1811	0857-28-8631
47		鳥取ペインクリニック	680-0036	鳥取県鳥取市川端1丁目201	0857-22-3633	0857-22-3635
48		たけうち耳鼻いんこう科	680-0935	鳥取県鳥取市里仁54-8	0857-50-0311	0857-50-0611
49		堀内医院	680-0945	鳥取県鳥取市湖山町南1丁目623	0857-58-1009	0857-31-2398
50		鳥取北クリニック	680-0905	鳥取県鳥取市賀露町4012	0857-32-7111	0857-32-7112
51		本城内科クリニック	680-0007	鳥取県鳥取市湯所町2-110	0857-39-1010	0857-39-1030
52		ひまわり内科クリニック	680-0862	鳥取県鳥取市雲山243-38	0857-21-1133	0857-21-2468
53		山本外科内科医院	680-0833	鳥取県鳥取市末広温泉町125-2	0857-23-2064	0857-29-6060
54		よねだクリニック	689-0334	鳥取県鳥取市賀露町北浜3丁目131-1	0857-37-6123	0857-37-6124
55		北室内科医院	680-0022	鳥取県鳥取市西町3丁目110	0857-26-1433	
56		寺岡医院	680-1442	鳥取県鳥取市吉岡温泉町135-3	0857-57-0108	0857-57-0109
57		庄司医院分院	680-0941	鳥取県鳥取市湖山町北1丁目547	0857-28-2611	0857-31-0100
58		いしこ内科・循環器科医院	680-0945	鳥取県鳥取市湖山町南3丁目301-1	0857-37-3200	0857-37-3212
59		よろずクリニック	689-0202	鳥取県鳥取市美萩野1丁目118-4	0857-59-0433	0857-59-2634
60		わたなベクリニック	680-0903	鳥取県鳥取市南張440	0857-60-0071	0857-50-0234

	登録医師氏名	医院名	郵便番号	住 所	電 話	FAX
61		さとに田園クリニック	680-0935	鳥取県鳥取市里仁54-2	0857-30-1515	0857-30-1155
62		にしまち診療所 悠々	680-0022	鳥取県鳥取市西町5丁目108	0857-25-6517	0857-25-6516
63		麻木クリニック	680-0801	鳥取県鳥取市松並町2丁目502-1	0857-23-3387	0857-23-3387
64		太田原医院	689-0216	鳥取県鳥取市気高町宝木827-5	0857-82-0953	0857-82-0953
65		尾崎医院	680-0531	鳥取県八頭郡八頭町才代158-5	0858-76-4000	0858-76-4018
66		花木こどもクリニック	680-0463	鳥取県八頭郡八頭町宮谷193-1	0858-72-0100	0858-72-0500
67		大谷医院	680-0463	鳥取県八頭郡八頭町宮谷221-5	0858-72-0167	0858-72-2700
68		中山小児科内科医院	680-0463	鳥取県八頭郡八頭町宮谷206-9	0858-72-1112	0858-72-1164
69		瀬川医院	680-0473	鳥取県八頭郡八頭町坂田350-3	0858-72-0120	0858-72-2289
70		林医院	689-1213	鳥取県鳥取市用瀬町鷹狩722-1	0858-87-2033	0858-87-3109
71		井上医院	689-1201	鳥取県鳥取市用瀬町用瀬457-6	0858-87-2755	0858-87-2776
72		加藤医院	689-1201	鳥取県鳥取市用瀬町用瀬382	0858-87-2440	0858-87-2672
73		岸医院	680-1251	鳥取県鳥取市河原町48	0858-85-0218	0858-76-3015
74		みやもと産婦人科医院	680-0874	鳥取県鳥取市叶293番地7	0857-51-7717	0857-51-7710
75		上山整形外科医院	680-0942	鳥取県鳥取市湖山町東2丁目103	0857-28-0315	0857-28-0316
76		おか内科クリニック	680-0901	鳥取県鳥取市江津407-2	0857-30-2111	0857-30-2112
77		佐々木整形外科医院	680-0081	鳥取県鳥取市岩倉452-30	0857-24-8100	0857-24-6887
78		いわさわ医院	689-1112	鳥取県鳥取市若葉台南6丁目23-26	0857-52-7822	0857-52-7827
79		やまもとクリニック	680-0803	鳥取県鳥取市田園町2丁目157	0857-50-0066	0857-50-0021
80		山根整形外科クリニック	680-0903	鳥取県鳥取市南限483	0857-31-4837	0857-30-3020
81		クリニックこくふ	680-8066	鳥取県鳥取市国府町新通り2丁目202	0857-50-1328	0857-50-1329
82		片原こうクリニック	680-0023	鳥取県鳥取市片原4丁目111	0857-51-0510	0857-51-0520
83		吉野・三宅ステーションクリニック	680-0846	鳥取県鳥取市扇町176	0857-21-8825	0857-21-8826
84		田中整形外科医院	680-0824	鳥取県鳥取市行徳1丁目332	0857-27-3021	0857-27-3022
85		かわぐちクリニック	680-0823	鳥取県鳥取市幸町95-1	0857-30-0020	0857-30-0920
86		さとに田園クリニック クリニック隣サリ	680-0843	鳥取市南吉方3丁目522	0857-30-1525	0857-30-1535
87		竹田内科医院	680-0031	鳥取市本町2丁目109	0857-22-4320	0857-29-6322
88		かげしま心臓血管・内科クリニック	680-0913	鳥取県鳥取市安長257-1	0857-30-6733	0857-30-6734
89		明穂整形外科	680-0846	鳥取県鳥取市扇町11-3	0857-37-1313	0857-37-1233
90		すがクリニック	680-0942	鳥取県鳥取市湖山町東2丁目140-1	0857-30-8830	0857-30-8829

歯科 登録医一覧

	登録医師氏名	医院名	郵便番号	住 所	電 話	FAX
1		広田歯科医院	680-0945	鳥取市湖山町南2丁目147-20	0857-28-5821	0857-28-5829
2		今田歯科岩倉医院	680-0081	鳥取市岩倉451-1	0857-23-5313	0857-23-5313
3		今田歯科医院	680-0841	鳥取市吉方温泉3丁目168	0857-22-3873	0857-22-3891
4		玉木歯科医院	689-1112	鳥取市若葉台南6丁目23番30号	0857-52-6090	0857-52-6091
5		谷尾歯科医院	680-0461	八頭郡八頭町郡家590-8	0858-73-0112	0858-72-2585
6		ハヤシ歯科医院	680-0023	鳥取市片原2丁目118	0857-22-2046	0857-22-2216
7		キシノ歯科医院	680-0864	鳥取市吉成779-40	0857-53-3552	0857-53-3035
8		中尾歯科医院	680-0802	鳥取市青葉町2丁目105	0857-29-7676	0857-29-7677
9		新通り歯科クリニック	680-8066	鳥取市国府町新通り3-301-1	0857-51-0190	0857-51-0191
10		吉田歯科医院	689-0501	鳥取市青谷町青谷3935	0857-85-0456	0857-85-0456
11		福田歯科医院	689-0405	鳥取市鹿野町鹿野1184-2	0857-84-2231	0857-84-3878
12		中尾歯科医院	680-0701	八頭郡若桜町若桜277	0858-82-0130	0858-82-1000
13		谷口歯科医院	680-0601	八頭郡八頭町北山榎ヶ坪96-37	0858-84-3636	0858-84-3031
14		いなだ歯科医院	689-0333	鳥取市気高町新町3-81	0857-82-4100	0857-82-4101
15		植田歯科医院	680-0461	八頭郡八頭町郡家29-3	0858-73-0018	0858-73-0418
16		芦津歯科医院	680-0471	八頭郡八頭町船岡385	0858-73-0118	0858-73-0804
17		松下歯科医院	680-0831	鳥取市栄町763メルヘンビル	0858-22-8212	0857-22-8212
18		岸本歯科医院	680-0462	八頭郡八頭町福本2-11	0858-72-6480	0858-72-6480
19		本荘歯科クリニック	680-0921	鳥取市古海664-16	0857-27-6488	0857-27-1661
20		坂口デンタルオフィス	680-0023	鳥取市片原5丁目414-1	0857-29-0118	0857-29-0133
21		かずやファミリー歯科	680-0051	鳥取市若桜町50-1	0857-27-5245	0857-27-5248

(様式例第15) 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修の内容

様式第15 - 1 別紙	
--------------	--

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	25回
(2) (1) の合計研修者数	774人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

- ア 研修プログラムの有無 ☒ 有・無
イ 研修委員会設置の有無 ☒ 有・無
ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診療科	役 職 等	臨床経験数	特 記 事 項
様式第15 - 3 別紙					

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
第一会議室	82.14㎡	(主な設備)教育用機器等 ・プロジェクター 5台(可搬式4台、固定式1台)、 パソコン6台、タブレット1台、バーコードリーダー、プレゼンテーション用レーザーポインター2本、スライドスクリーン3機(可搬式2機、固定式1機)、音響設備
第二会議室	36.00㎡	研修室用(有線マイク2本、ワイヤレスマイク2本) ・ホワイトボード(移動式4台) ・ブルーレイプレイヤー 1台、TV65インチ(壁掛) 1台、デジタル1眼レフカメラ 1台、カメラ三脚 1台、スピーカー 1台 ・内視鏡手術シュミレーター ・大腸内視鏡トレーニングモデル ・気道管理トレーナー ・中心静脈挿入シュミレーター ・胃内視鏡シュミレーター ・縫合手技トレーニングセット ・ALSシュミレーター ・採血静脈シュミレーター(シンジョーⅡ) ・手背静脈注射シュミレーター ・静脈注射パッド ・上腕部筋肉内・皮下注射シュミレーター(きんちゅうくん) ・神経・血管腕モデル ・フィジカルアセスメントモデル(Physiko) ・ナーシングアン ・男性導尿・浣腸シュミレーター(きんちゅうくん) ・レサシアン ・教育用DVDセット(フィジカルアセスメント) ・万能型看護実習用モデル人形(八重) ・乳房マッサージモデルⅢ ・多職種連携ハイブリッドシュミレーター(SCENARIO)
研修室1	72.00㎡	・リトルアン ・吸引シュミレーター ・高齢者体験装具 ・避難所HUG ・打診器 ・インターネット環境他
研修室2	36.00㎡	(主な設備) 文献検索用パソコン1台(Windows 1台) 文献検索(医学中央雑誌Web、PubMed) 電子ジャーナル MEDLINE with Full Text、医書.jp)
トレーニングルーム	82.14㎡	
多目的ホール	185.00㎡	
図書室、カンファレンス室	178.22㎡	

様式第15-1 別紙

開催日	研修名	テーマ	主催	院内	院外	加合計	備考
2024/7/25	令和6年度 鳥取赤十字病院 糖尿病基礎講座	糖尿病基礎講座	糖尿病教育推進委員会	21	4	25	講師： 会場：多目的ホール
2024/8/7	令和6年度 鳥取赤十字病院 糖尿病基礎講座	糖尿病基礎講座	糖尿病教育推進委員会	21	4	25	講師： 会場：多目的ホール
2024/9/27	令和6年度 鳥取赤十字病院 認定看護師公開講座	フットケア 足を守るために 身体拘束をしないための取り組み	認定看護師会	9	18	27	講師： 会場：多目的ホール
2024/10/5	第15回 NST短期集中研修会	JSPEN「NST専門療法士」育成・診療上必要な栄養療法の知識習得	NST委員会	15	30	45	講師： 会場：多目的ホール
2024/10/25	令和6年度鳥取赤十字病院 認定看護師公開講座	透析患者の排便管理について考えよう・それ急ぐ？～バイタルサインを中心に読み解く～	認定看護師会	13	6	19	講師： 会場：多目的ホール
2024/11/9	2024年いきいき糖尿病講演会	糖尿病と運動療法の効果	糖尿病教育推進委員会	6	23	29	講師： 会場：多目的ホール
2024/11/30	令和6年度鳥取赤十字病院 認定看護師公開講座	化学療法を受ける患者のスキンケア・がん化学療法とスキンケア	認定看護師会	19	4	23	講師： 会場：多目的ホール

令和6年度 鳥取赤十字病院職員による講演及び研修会に対する講師派遣

派遣日	依頼者	内容(タイトル)	派遣場所	講師	対象者	人数
2024/5/17	看護協会	ファーストレベル 人材管理Ⅰ	鳥取市	看護師	看護師	不明
2024/6/14	鳥取市医療看護専門学校	看護管理	鳥取市	看護師	学生	不明
2024/6/21	鳥取市医療看護専門学校	看護管理	鳥取市	看護師	学生	不明
2024/7/3	敬愛高校	(不明)	鳥取市	看護師	学生	不明
2024/7/9	日本オストミー協会鳥取県支部	ストーマ勉強会	鳥取市	看護師	一般	15名
2024/7/11	減塩サミット	減塩サミット	鳥取市	看護師	一般	不明
2024/7/26	鳥取県看護協会	ファーストレベル研修会	鳥取市	看護師	看護師	不明
2024/8/31	日本緩和医療学会	ACPの取り組み	鳥取市	看護師	一般	20名
2024/9/6	鳥取県社会福祉士会	2024年度第1回鳥取県社会福祉士会保健医療委員会研修会	米子市	MSW	医療関係者	50名
2024/9/28	鳥取県障がい者スポーツ協会	医事講習会「スポーツ外傷・障害について」	鳥取市	医師	一般	不明
2024/10/2	鳥取県看護協会	令和6年度看護職員向け業務支援研修	鳥取市	看護師	看護師	6名
2024/10/6	鳥取県東部骨粗鬆症多職種連携協議会	骨粗鬆症デー in 鳥取 2024 骨粗鬆症講演会	鳥取市	理学療法士	一般	不明
2024/10/24	特別養護老人ホームはまゆう	褥瘡ケア	鳥取市	看護師	看護師	15名
2024/10/26	鳥取県障がい者スポーツ協会	医事相談	鳥取市	医師	一般	不明
2024/11/1	鳥取県東部医師会	鳥取県東部在宅医療・介護連携研究会 第37回 事例検討会	鳥取市	看護師	医療従事者	不明
2024/11/2	鳥取県障がい者スポーツ協会	医事相談	鳥取市	医師	一般	不明
2024/11/21	鳥取県病院協会看護部会	能登半島地震の病院支援の経験～災害に関して備えておくこと～	倉吉市	看護師	看護師	40名
2024/11/28	鳥取看護専門学校	看護管理	鳥取市	看護師	看護学生	37名
2024/12/5	鳥取看護専門学校	看護管理	鳥取市	看護師	看護学生	37名
2024/12/6	鳥取県国民健康保険団体連合会	循環器内科領域にかかる診療について	鳥取市	医師	事務職員	30名
2024/12/9	鳥取看護専門学校	災害看護	鳥取市	看護師	看護学生	37名
2024/12/10	鳥取看護専門学校	災害看護	鳥取市	看護師	看護学生	37名
2024/12/12	鳥取看護専門学校	看護管理	鳥取市	看護師	看護学生	37名
2024/12/14	鳥取県障がい者スポーツ協会	医事相談	鳥取市	医師	一般	不明
2024/12/16	鳥取看護専門学校	災害看護	鳥取市	看護師	看護学生	37名
2024/12/19	倉吉総合看護専門学校	看護管理(国際看護)	倉吉市	看護師	看護学生	12名
2024/12/20	鳥取県東部医師会	鳥取県東部医師会大腸がん検診従事者講習会	鳥取市	医師	医師	不明
2025/1/8	鳥取看護専門学校	国際協力	鳥取市	看護師	看護学生	37名
2025/1/15	倉吉総合看護専門学校	看護管理(看護マネジメント)	倉吉市	看護師	看護学生	44名
2025/2/26	鳥取県東部医師会	令和6年度小児救急地域医師研修会	鳥取市	医師	医師	20名
2025/3/14	鳥取県東部医師会	かかりつけ医依存症対応力向上研修	鳥取市	医師	医師等	不明
2025/3/24	鳥取県臨床工学技士会	第10回血液浄化セミナー	鳥取市	看護師	医療従事者	70名

様式第15-3 別紙

研修指導者氏名	職種	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
	医師	内科		21	
	医師	内科		17	
	医師	内科		13	
	医師	内科		21	プログラム副責任者
	医師	内科		9	
	医師	循環器内科		41	
	医師	循環器内科		38	プログラム副責任者
	医師	脳神経内科		26	
	医師	脳神経内科		42	
	医師	脳神経内科		15	
	医師	小児科		28	
	医師	小児科		18	
	医師	外科		32	
	医師	外科		38	
	医師	外科・救急科		36	プログラム責任者
	医師	外科		13	
	医師	整形外科		36	
	医師	整形外科		12	
	医師	整形外科		8	
	医師	整形外科・リウマチ科		26	
	医師	形成外科		18	
	医師	泌尿器科		25	
	医師	産婦人科		37	
	医師	耳鼻咽喉科頭頸部外科		13	
	医師	麻酔科		26	
	医師	麻酔科		26	
	医師	麻酔科		21	
	医師	麻酔科		10	
	医師	放射線科		40	
	医師	放射線科		14	
	医師	歯科口腔外科		24	
	医師	循環器内科		42	
	医師	病理診断科		45	
	医師	産婦人科		46	

(様式例第16) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	総務課長
管理担当者氏名	各部長 又は 各課長

		保管場所	分 類 方 法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		電子カルテに係る記録は医療情報係で保管。各所管部又は所管科で保存	診療科ごとに、「鳥取赤十字病院公用文書分類基準及び保管期間」に基づき保管
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療連携課	・「開放病床利用関係書類綴」にて分類 ・「画像診断オープンシステム取扱状況」にて分類
	救急医療の提供の実績	医事課	・電子カルテシステムにて管理
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	地域医療連携課	・院内報告書様式を基に台帳作成して分類
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域医療連携課	・「紹介、逆紹介患者名簿」にて分類

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式例第17) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	院長 竹内 裕美
閲覧担当者氏名	総務課長
閲覧の求めに応じる場所	鳥取赤十字病院 総務課
閲覧の手続の概要 ・診療に関する閲覧については医事課が対応。管理・運営については総務課が対応する。	

前年度の総閲覧件数		3件
閲覧者別	医師	0件
	歯科医師	0件
	地方公共団体	0件
	その他	3件

(様式例第18) 委員会の開催の実績

委員会の開催回数	4 回	
委員会における議論の概要		
様式第18 別紙		

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

(様式例第19) 患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口・相談室・ その他 (患者総合相談窓口)
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	看護師、MSW
患者相談件数 患者相談件数 様式第19 別表1 : 総合相談総合窓口 7 1 1 件 様式第19 別表2 : 受診相談件数(電話相談含む) 1 0 , 9 5 2 件 様式第19 別表3 : 医療福祉相談(退院支援)MSW 実件数 2 , 1 8 7 件 様式第19 別表4 : 医療福祉相談(退院支援)看護師実件数 2 4 5 件	1 4 , 0 9 5 件
患者相談の概要	
様式第19 別表1 様式第19 別紙	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

様式第18 別紙

令和6年度第1回鳥取赤十字病院 地域医療支援病院運営協議会

開催日時：令和6年6月27日（木）11：00～

開催場所：鳥取赤十字病院 多目的ホール（本館1階）

次 第

1. 委員長挨拶

2. 委員紹介

令和6年地域医療支援病院運営協議会委員会名簿……P. 1

3. 議 題

地域医療支援病院の承認要件（抜粋）……P. 2～ 3

（1）業務報告（別紙）

1）紹介率及び逆紹介率……P. 4～ 5

2）共同利用……P. 6～ 7

3）救急医療の提供……P. 8～11

4）研修会等の開催……P. 12～15

（2）その他

・医療と介護の連携（協力病院連携協定）……P. 16

以 上

様式第18 別紙

令和6年度第2回鳥取赤十字病院 地域医療支援病院運営協議会

開催日時：令和6年10月17日（木）13：00～

開催場所：鳥取赤十字病院 多目的ホール（本館1階）

次 第

1. 委員長挨拶

2. 委員紹介

令和6年地域医療支援病院運営協議会委員会名簿……P. 1

3. 議 題

地域医療支援病院の承認要件（抜粋）……………P. 2～ 3

（1）業務報告（別紙）

- 1）紹介率及び逆紹介率……………P. 4
- 2）共同利用……………P. 5～ 6
- 3）救急医療の提供……………P. 7～ 8
- 4）研修会等の開催……………P. 9～10

（2）その他

- ・医療と介護の連携……………P. 11～12
（協力対象者施設入所者入院加算について）
- ・令和6年度鳥取赤十字病院地域連携の夕べ開催P. 13
- ・病院機能評価 受審……………P. 13

以 上

様式第18 別紙

令和6年度第3回鳥取赤十字病院 地域医療支援病院運営協議会

開催日時：令和6年12月26日（木）11：00～

開催場所：鳥取赤十字病院 多目的ホール（本館1階）

次 第

1. 委員長挨拶

2. 委員紹介

令和6年地域医療支援病院運営協議会委員会名簿……P. 1

3. 議 題

地域医療支援病院の承認要件（抜粋）……P. 2～ 3

（1）業務報告（別紙）

1）紹介率及び逆紹介率……P. 4

2）共同利用……P. 5～ 6

3）救急医療の提供……P. 7～ 8

4）研修会等の開催……P. 9～10

（2）その他

・第29回地域連携懇話会について……P. 11

以 上

様式第18 別紙

令和6年度第4回鳥取赤十字病院 地域医療支援病院運営協議会

開催日時：令和7年 3月17日（月）12：30～

開催場所：鳥取赤十字病院 多目的ホール（本館1階）

次 第

1. 委員長挨拶

2. 委員紹介

令和6年度地域医療支援病院運営協議会委員会名簿……P. 1

3. 議 題

地域医療支援病院の承認要件（抜粋）……………P. 2～ 3

（1）業務報告（別紙）

- 1）紹介率及び逆紹介率……………P. 4
- 2）共同利用……………P. 5～ 6
- 3）救急医療の提供……………P. 7～ 8
- 4）研修会等の開催……………P. 9～10

（2）第29回地域連携懇話会開催について

令和7年2月6日開催 ※資料別紙 P. 11

参加者：67名 （会場：44名 WEB 23名）

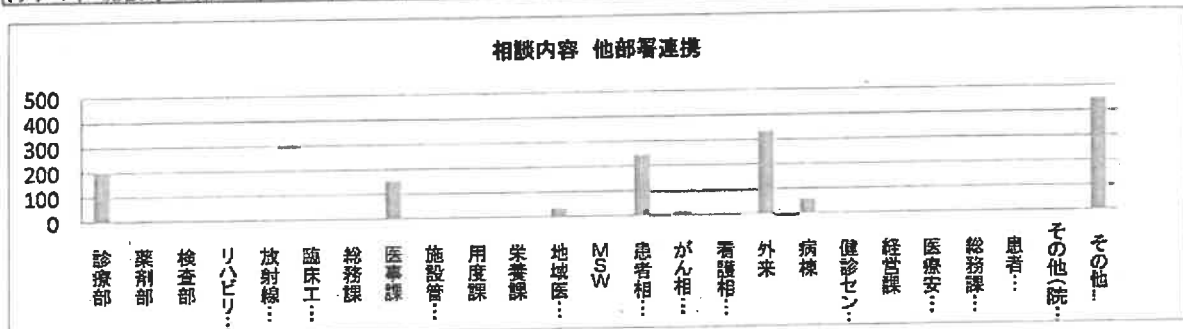
（3）その他

以 上

令和6年度(2024 年度) 患者サポート報告(総合相談窓口・受診相談)

様式第 19 別表 1

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合相談窓口件数	41	44	45	55	44	60	104	55	74	54	64	71	711
患者サポート報告書件数					1								1
看護師													0
薬剤師													
検査技師													
MSW					1		1						2
患者サポート 接財部金回数	5	4	4	5	4	4	5	4	4	4	3	4	50
相談内容を他部署に 聞いた件数	110	88	90	118	94	149	218	111	194	135	171	170	1648
診療部	14	9	15	13	11	16	29	10	24	16	17	26	200
薬剤部	1						2		1		1	1	6
検査部												1	
リハビリテーション科				6						1			
放射線技術課													
臨床工学技術課													
総務課	1												1
医事課	9	9	7	10	9	19	28	10	23	8	9	13	154
施設管理課									1				1
用度課													
栄養課													0
地域医療連携課	6	3	2	5	2	0	0	1	8	1	5	2	35
MSW													0
患者相談支援課	11	9	9	21	21	25	34	15	32	20	25	25	247
がん相談支援	5	1	3	1	1		1				1		13
看護相談外来	1	1											2
外来	22	21	18	28	25	30	34	24	39	27	33	32	333
病棟	1	2	2	2	7	10	6	3	6	4	6	9	58
健診センター							6						
経営課													
医療安全推進室													
総務課医療安全													
患者サービス委員会													
その他(院内部署)													
その他 (ケアマネ・施設等地域)	32	23	24	26	16	31	64	36	56	38	57	46	449

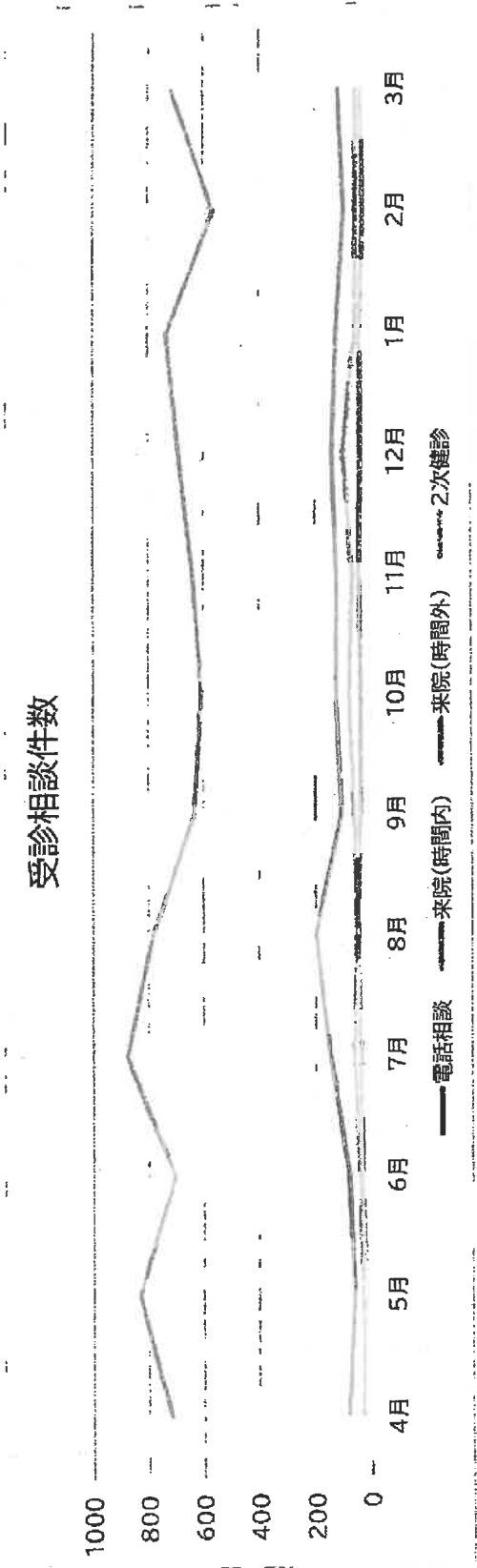


【サポートカンファレンス・連携事例】

- 再診窓口等、受付前の行列、待ち時間対策について(2023年度からの継続課題)
 - ・発見番号順の呼び出し方法を変更:5人ずつ呼び出し、呼び出すまでは座ってお待ちいただく
 - ・再来受付機の変更:再来受付→保険証確認→初診紹介受付への流れを整理
 - ・初診用記入台の撤去:バインダーを使用し座って記載
 - ・受付待合の椅子のレイアウト変更
 - ・評価を継続し、問題発生時は速やかに対策を検討する
- 医療費に関する相談事例について(2023年度からの継続課題)
 - ・限度額申請の説明:入院患者は定着
 - ・外来通院中の患者への案内:外来待合表示板に案内を表示・職員にも案内
 - ・高額な治療となる場合:医師からの説明も必要。個別対応事例では月をまたがない治療計画を検討依頼
 - ・病棟担当医事課員に入院患者とのコミュニケーションの強化を依頼。困り事はないか一声声をかけてもらう
 - ・医療費に関する相談窓口の明確化の要望があり、検討中
- 精神疾患があり、不要な来院を繰り返す患者への対応
 - ・通院中の精神科病院へ情報提供。アドバイスをもらい、対応を統一。
 - ・デイケア等のサービス調整等、情報を共有、連携を継続している。

2024年度 受診相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話相談	81	60	80	148	198	104	123	122	138	121	94	115	1384
来院（時間内）	718	831	706	878	785	636	608	640	693	736	564	717	8512
来院（時間外）	30	18	35	36	48	37	34	41	35	37	24	34	409
2次健診	26	29	39	60	44	59	74	63	97	52	53	51	647
合計	855	938	860	1122	1075	836	839	866	963	946	735	917	10952



COVID-19に関する相談件数は減少したが、全体の相談件数は年々増加、対前年度比1,000件程度増加した。
相談内容として、身体症状への対処や受診診療科の選定、受診方法、2次健診後の受診に関する内容などとなっている。
時間内に直接来院の方の受診相談件数が増加している。

様式第19別表3

医療社会事業年報

2025.04.07

対象区分：MSW

1. 取り扱い件数

《年度実件数》		
ケースの区分		件数
年度実件数		2187
継続実件数		313
新規実件数	入院	1734
	外来	140

2. 年度延件数

ケースの区分	件数
年度延件数	11524

3. 新規ケースの紹介経路

区分	件数
医師	30
看護職	1750
リハビリ職	1
その他院内職員	1
本人	31
家族・親戚縁者	
院外関係機関	4
近隣者・知人	
医療チーム	
ソーシャルワーカー	
合計	1817

4. 介入の時期

区分	件数
受診前	
外 来	97
入院前	6
入院中	1589
その他	

5. 社会的背景

独居	220
経済困窮	8
家族疎遠・身寄りなし	3
ハイリスク妊産婦	
精神疾患	21
認知症	152
家庭内暴力・虐待	
自殺企図	
無保険	
身元不明	
ホームレス	
外国人	

6. 援助内容

区分	実件数	延件数
受診・受療	58	126
経済的問題	19	32
制度活用	33	53
入院療養生活	17	28
退院支援	1391	8599
在宅療養・介護	737	2374
医療者との関係	1	1
家族関係	12	21
日常生活	2	2
就労・就学		
身元保証・権利擁護	1	2
死後対応		
その他		
合計	2271	11238

7. 援助方法

方法		実件数
面談	本人	1554
	家族	1554
	友人・知人	29
電話	本人	12
	家族	2873
	友人・知人	24
訪問	家庭	
	その他	
同行・同伴・代行		400
連絡調整・院内		12335
院外：面会		624
院外：電話		9538
院外：文書他　メール他		1025
カンファレンス（院内職種のみ）		47
カンファレンス（院外職種含む）		40
合同カンファレンス（院内職種のみ）		
合同カンファレンス（院外職種含む）		100

8. チーム医療

チーム名	症例数
退院支援チーム	2738

記載者職種 人数

MSW(再掲：社会福祉士)	人数	職種(その他)	人数
精神保健福祉士(PSW)	名		名
	名		名
	名		名
	名		名
	名		名

1. 取り扱い件数

《年度実件数》		
ケースの区分		件数
年度実件数		245
継続実件数		94
新規実件数	入院	143
	外来	8

2. 年度延件数

ケースの区分	件数
年度延件数	851

3. 新規ケースの紹介経路

区分	件数
医師	
看護職	139
リハビリ職	
その他院内職員	
本人	2
家族・親戚縁者	
院外関係機関	
近隣者・知人	
医療チーム	
ソーシャルワーカー	
合計	141

4. 介入の時期

区分	件数
受診前	
外 来	1
入院前	
入院中	40
その他	

5. 社会的背景

独居	3
経済困窮	
家族疎遠・身寄りなし	
ハイリスク妊産婦	
精神疾患	
認知症	8
家庭内暴力・虐待	
自殺企図	
無保険	
身元不明	
ホームレス	
外国人	

6. 援助内容

区分	実件数	延件数
受診・受療	4	7
経済的問題		
制度活用		
入院療養生活	2	2
退院支援	467	1077
在宅療養・介護	271	371
医療者との関係		
家族関係		
日常生活		
就労・就学		
身元保証・権利擁護		
死後対応		
その他		
合計	744	1457

7. 援助方法

方法	実件数
面談	本人 45
	家族 80
	友人・知人 10
電話	本人
	家族 410
	友人・知人 2
訪問	家庭
	その他
同行・同伴・代行	
連絡調整・院内	658
院外：面会	303
院外：電話	744
院外：文書他 メール他	329
カンファレンス（院内職種のみ）	
カンファレンス（院外職種含む）	10
合同カンファレンス（院内職種のみ）	
合同カンファレンス（院外職種含む）	1

8. チーム医療

チーム名	症例数

記載者職種 人数

MSW（再掲：社会福祉士）	人数	職種（その他）	人数
精神保健福祉士（PSW）	名		名
	名		名
	名		名
	名		名
	名		名

患者サポートセンター マニュアル

「患者総合相談窓口」業務の運用手順

1. 目的

受診科選択、受診介助、その他の医療福祉関連事項について他職種と連携し、相談・指導、苦情への対応を行い、安心な受診や相談者のニーズに応えた相談支援を行う。

2. 体制・機能（患者サポート体制マニュアル参照）

- ・患者サポート体制の患者総合相談窓口として、他部署と連携を取りながら対応する。
- ・医療社会事業部内の役割・業務の一環として対応を行う。

3. 設置場所

- ・患者相談支援課の担当場所に「患者総合相談窓口」の案内を明示する。
- ・「受診相談」または「患者総合相談窓口への案内」の立札を立てる。

4. 相談担当者

- ・担当者：管理夜勤看護師、患者相談支援課入退院支援係看護師・医療社会事業司、病棟看護師長
- ・患者相談支援課看護師が、患者サポート月間当番表を組む。

5. 相談時間

8：15	～	9：00	管理夜勤師長・係長
9：00	～	12：30	受診相談担当者（患者サポート月間担当表）
12：30	～	17：10	受診相談担当者（患者サポート月間担当表）
8：30	～	17：10	電話対応随時

6. 役割と業務

1) 受診への支援

- ・受診科の選択に関すること及び受診方法についての助言
- ・受診手続きの支援
高齢患者・視聴覚障害者・外国人患者等への受診手続の支援（申込書の代筆、手話通訳の依頼、診療科への案内等）
- ・初診患者のトリアージにも留意し、緊急を要する患者の診療科へ連絡・移送する。
- ・来院者への介助・案内
車椅子、ストレッチャー、車への移乗介助、福祉タクシーへの乗降介助、診療科への移送介助、カート利用の案内、院内各場所への付きそい・口頭での案内などをおこなう。
- *南口入り口にも車椅子・押し車・ベビーカー・カートを各数台ずつ常備し、利用状況に応じ、移動、補充する。

- 2) 電話相談への対応
 - ・ 院外からの医療福祉相談、受診科の判断、健診後精査受診案内を中心に対応し、必要時該当科や関連部署へ連絡、対応依頼を行う。
- 3) その他の医療福祉相談
 - ・ 検査、薬、他の各種医療相談への対応を行う。必要時関連部署へ依頼、又は連携をとりながら相談・指導等を行う。
- 4) 苦情対応
 - ・ 必要時、苦情を伺い関係部署、又は医療安全推進室への対応を依頼する。
対応終了したもの、継続対応必要なもの等患者サポート報告・依頼書等を作成し、患者サポートマニュアルに沿った対応を行う。
- 5) 病院ボランティアの方々への支援
 - ・ ボランティアの方からの相談事項は、必要時管理部署である総務課・患者相談支援課へ報告する。
 - ・ 依頼内容に応じて該当部署へ連絡し、解決への支援を行う。
7. 業務関連記録について
 - * 「患者総合相談窓口日誌」、「相談内容記録用紙」
相談担当者、受診相談内容・件数、受診支援内容・件数その他の相談事項、他部門連携状況等の対応事項を記録する。
 - * 「患者サポート報告兼依頼書」・・・患者サポート体制マニュアル参照
患者サポート必要事項等については、患者サポート報告兼依頼書を記載し、報告及び継続支援等の対応を行う
必要時、患者サポート検討部会・患者サポートカンファレンスへ提出・検討する。
8. 集計・報告
 - ・ 集計は1ヶ月毎に患者相談支援課で行い、入院支援・医療福祉相談などの統計と一緒に報告する。
9. 担当者会議
 - ・ 患者サポート検討部会・・・1回/週（火曜日 適宜時間調整）
10. その他
 - 看護部 BSC に沿って勉強会参加、必要時最新情報の共有等行う。

平成 27 年 7 月 改訂

平成 28 年 9 月 改訂

令和元年 6 月 改訂

令和 2 年 1 月 改訂

令和 5 年 5 月 改訂

患者サポートセンター マニュアル

受診相談業務参考事項

1. 受診科、症状についての相談にあたって

- 1) 情報を提供し、できるだけ患者本人に選んでいただく。
*精神科等、受診可能な診療科を希望される場合は、他病院を案内する。
- 2) 患者の症状より、診療科の判断に迷う時には、各外来へ相談する。
- 3) 受付時間終了後の受付は原則できないが、外来に問い合わせ受診可能であれば、手続きをすすめる。
- 4) 予約外受診時、初診時、診療科によっては待ち時間が長くなることを説明し、了承の上、受診していただく。
- 5) 電話による受診相談の場合、緊急性の判断が難しいため、通院中の場合は各科外来に連携し、当院で対応困難な場合は、受入可能な病院等への早めの受診をすすめる。調整に時間がかかる場合は、折り返し対応する。
- 6) 健診後の精密検査目的で紹介状該当科が明記されていない場合は、検査結果から該当科を案内し、受診手続きをしていただく。
紹介状持参がない場合でも検査結果区分や、精密検査必要等の文章があれば、紹介状の扱いとなる。当院でのプチ健診は、異常値であれば紹介状扱いとなる。不明な場合は医事課担当者に連携・相談する。

※当日の休診・代診・受付時間の変更等は毎日確認しておく。

※初診時、紹介状がなくても受診可能な診療科、紹介状が必ず必要な診療科など診療科による受診対応の注意事項を念頭に対応する。紹介状がなくても受診可能な場合は選定療養費が必要となる場合があることを説明し、必要時外来と連携し受診案内する。

2. 苦情について

- 1) 必要時、窓口以外の部屋（医療福祉相談室等）を利用する。
状況に応じて了解を得られれば、録音をとる。できる限り複数人で対応する。必要に応じ医療安全推進室へ連絡し、対応依頼をする。
- 2) 傾聴だけで終了しない場合は、所属長へ報告・相談するとともに該当部署や医療安全推進室へ連絡し、対応依頼をする。
- 3) 内容に応じた報告書に記入する。
- 4) 事後、関係部署に伝達、改善が必要な場合は対処する。

3 入院病室等の案内

- 1) 面会目的の来院者へは、総合案内で氏名・住所（PC画面で検索）、個人情報の利用停止希望の有無等を確認し、ご案内又はお断りする。
・午前中は原則案内しない。面会時間とその理由を説明し、ご理解いただく。事情に

よっては、病棟看護師へ面会可能かどうかを確認し、案内する。

- ・面会者へは、面会許可証の発行手続きを行い、病棟のデイルームでの面会を説明する。
 - ・感染症の流行時期には、行政の感染症流行情報等により、院内で面会制限の場合があるため、その旨を説明し面会制限へのご理解をいただく。
 - ・電話での問い合わせには、原則案内しない。
 - ・面会制限や電話問い合わせ等で案内出来なかった場合は、該当患者にお伝えすることの可否を聞き、希望されれば該当病棟看護師へ伝える。
- * 病室案内は主に事務職員が行うが、必要時対応する。

4. その他

1) 設備、用具等の管理、修理等の対応について

* 玄関・受付付近の設備・用具等への対応必要時は、下記へ連絡する。

- ・玄関に常備の車椅子、ストレッチャー（シーツ類の管理含む）、パイプ椅子等…医事課
- ・公衆電話、玄関マット（滑り止め）…施設管理課
- ・貸し出し用傘・傘袋…総務課
- ・駐車場・駐車券に関する扱い…総務課
- ・その他、掲示物看板等…総務課

2) 日常点検

* 日々の日常点検（整理・整頓、汚染時の清掃など）

- ・患者総合相談窓口係の看護師、患者相談支援課の職員、医事課職員などで協力して行う。

* 清掃：1 回/週程度 医事課 定数点検

整理・整頓：平日毎日 患者相談支援課

修理・定数管理：1 回/週程度 施設管理課

平成 27 年 7 月 改訂

平成 28 年 9 月 改訂

令和元年 6 月 改訂

令和 2 年 1 月 改訂

令和 5 年 5 月 改訂

【対応時の留意点】

1. 窓口で相談を受ける際の留意点

《相談受付の原則》

- 相談者等のプライバシーを保護する。
- 患者・家族に不利益が生じないように注意する。
- 患者・家族の自己決定を尊重する。
- 相談を基に、問題点を改善する。

《相談者への対応》

- 相談者を尊重し、聴く姿勢を持ち誠意を言動で表す。
- 言い訳や反論をしない。
- 曖昧かつ抽象的な言葉は使用しない。
- 病院の利益や優位性で判断するのではなく、相談者の立場に立って解決策と一緒に考える。
- 問題が解決できない場合でも、経過は詳細に説明する。
- 不安が少しでも軽減するように配慮する。

《対応困難な事例への対応》

- 事実関係が不明なとき、その場での対応が困難な場合は、さらに他部署、他機関での対応が必要と判断される場合は、所属長に報告・相談するとともに、患者サポート体制マニュアル内の患者サポート体制機能図（総合相談窓口と各部署の連携体制）による対応依頼をする。
- クレームを受けた時、対応困難（暴言・暴力、訴えが不明瞭で時間を要する時）や慎重な対応（病院としての謝罪が必要となってくるもの）が必要と判断した時は、総務課医療安全係に連絡し対応を依頼する。
- 対応依頼が必要でないと思われるときでも、継続対応が必要なこともある為、書面での報告とともに口頭で報告しておく。

《職員の心構え》

- メモを取り（相談者の了解を得る）、すぐに報告書を作成し（患者サポート報告書、クレーム対応報告書等）、所属長に報告する。
- 相談・クレーム対応報告書等は、院内で改善活動の資料として共有し委員会等での報告・検討、閲覧後、ファイリングする。相談内容・対応部署等により、患者サポート報告・依頼書綴り、患者サービス委員会、医療安全推進室綴り等該当するところでファイリングする。

2. 電話による相談を受ける際の留意点

- 聴くことに徹する。
- 相手の言い分を否定しない。
- 相手の感情的な言葉に惑わされない。
- 対話のリズムは相手に合わせる。
- 穏やかな表現を使う。
例えば「なるほど・・・。お気持ちはよく分かりますが・・・。」などのイエス・バット法を使う。
- 理屈で相手をやり込めない。一層感情的になる。
- 杓子定規なものの言い方をしない。
- たらい回しにしない。
- 自分だけで解決しない。関連部署、所属長に相談する。
- 自分の手に負えないと判断したときは、すぐに対応できる人に代わる。
- 電話を代わるときには、その旨を相手に伝える。
- 相手が名乗らないからといって、無理に名前を聞き出そうとしない。
- 正当性を主張し過ぎない。相手の間違い、勘違いであっても、その非を相手に言わない。
- クレームの経緯と相手の要望を充分に把握する。経緯、経過を出来るだけ詳しく、時系列的に聞く。
- 電話の対応だけで相談者は納得していない。相談内容についてキチンと対応することが、重要である。

3. やってはいけないクレーム対応行動

- クレームより他の業務を優先させる。
- 頻繁に発生するクレームを軽視する。
- 誰かがするだろうと、他人に依存する。
- 自分勝手な判断による、独断的な対応で終わらせる。
- 対応方法が分からず放置する。
- 病院の責任問題を明確にすることを優先し、対応が遅い。
- 相手との感情的なやりとり。

(様式第 20)

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 (財) 日本医療機能評価機構 評価を受けた時期：2024年9月 評価項目：一般病院2 3rdG:Ver3.0	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 [季刊誌の発行] 地域連携NEWS、かわらばん 等 [医療、福祉従事者向け講演会の開催] 地域医療連携懇話会、認定看護師公開講座 等 [一般対象] 日赤糖尿病講演会 等 [SNS] 当院ホームページ、当院LINE	

3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	有・無
・退院調整部門の概要 患者サポートセンターに患者相談支援課を設置し、入退院支援係、在宅医療支援係、医療福祉相談係がある。退院後の在宅療養支援や転院・施設入所等の調整を患者・家族の意向に添いながら、病棟・院内外の多職種と連携しながら行っている。	

4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの策定	有・無
・策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 ・地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み 脳卒中パス、がんパス、大腿骨頸部・転子部骨折パス、糖尿病パスを運用している (様式第20-4 別紙) ・地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み	

鳥取県保健医療計画の東部圏域における脳卒中、大腿骨頸部・転子部骨折の医療連携体制を基に上記パスを活用し普及に努めている。

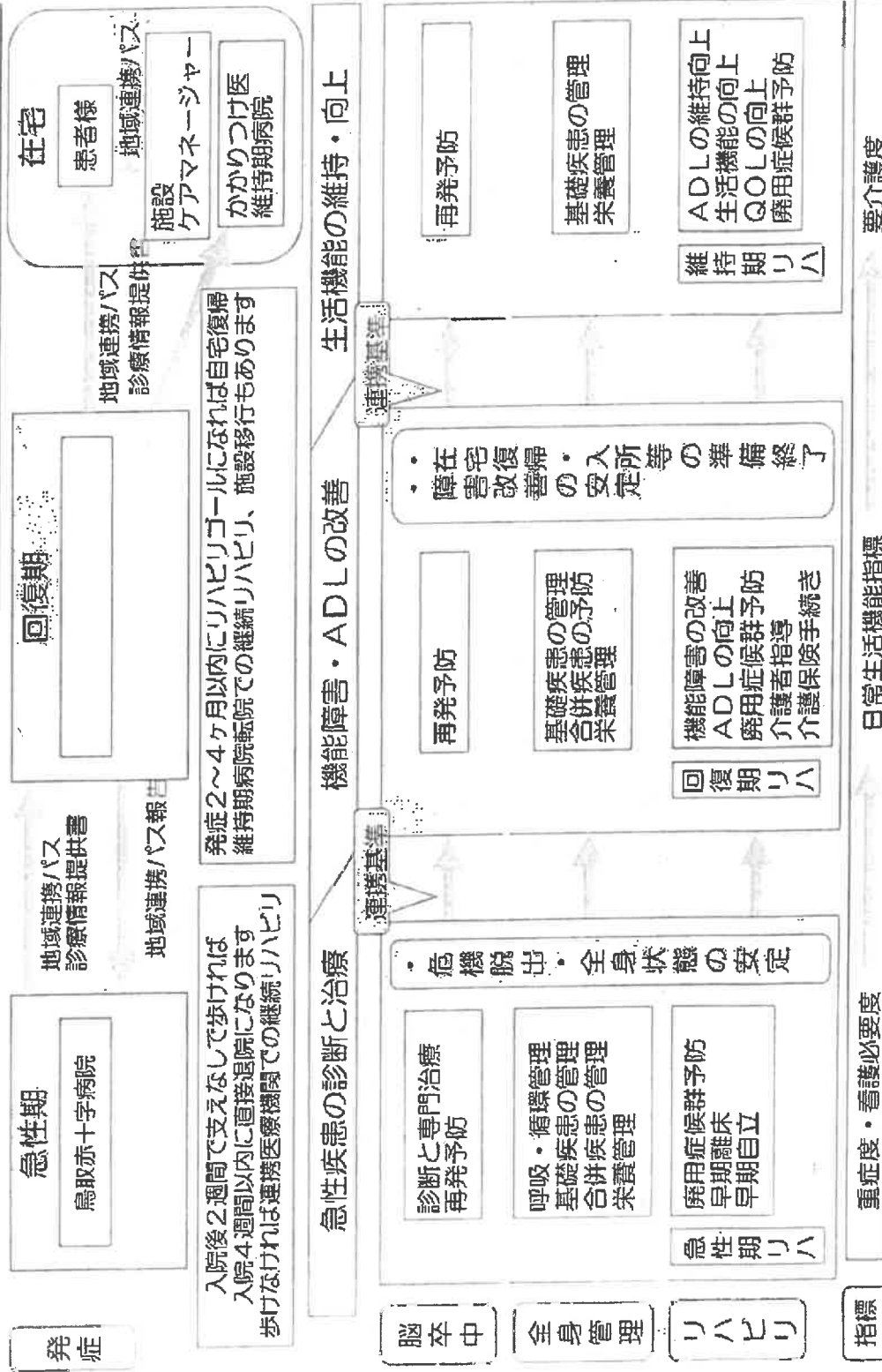
- ・策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容
- ・地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み

様式第20-4 別紙脳卒中地域連携パス説明同意書

患者氏名：	様 ID：
私は脳卒中地域連携パスの説明を受け、 脳卒中地域連携パス使用に同意します。	
患者、家族署名	
説明者	
鳥取赤十字病院 説明日 2022年09月17日	

①当院は医療法第30条2項に基づき、下記の病院と連携して、共通の診療計画（脳卒中地域連携パス）に基づいて治療を実施しています。当院から転院先の病院に皆様が必要な医療情報が申し送られるとともに、転院先の医療機関からの医療情報が連携パス管理病院（急性期の病院）に送られます。

②この医療情報は匿名化して地域における脳卒中治療成績向上のために活用させて頂く場合があります。医療情報はすべて匿名化され、個人情報公表されることは一切ありません。



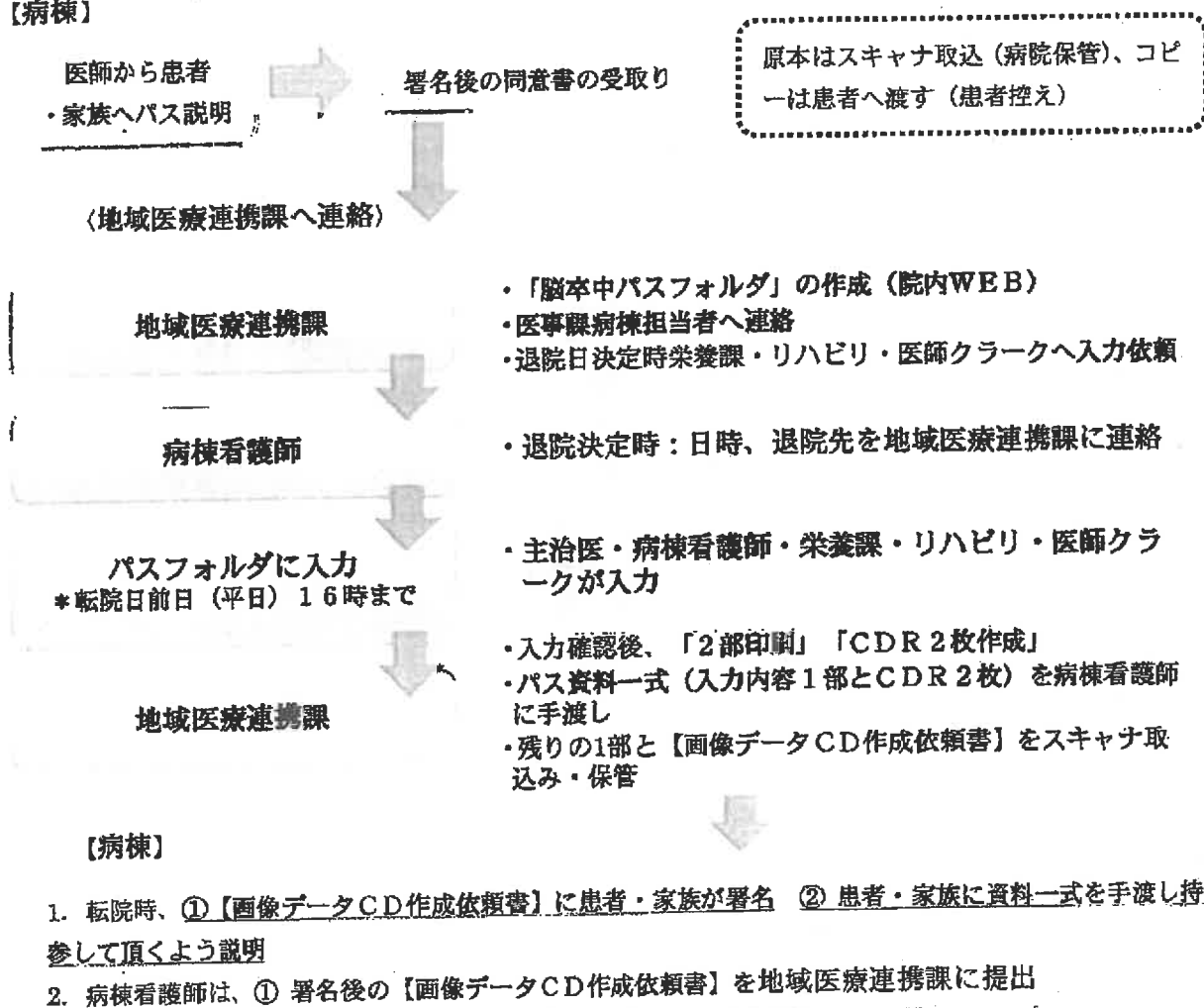
「脳卒中パス 及び 大腿骨頸部・転子部骨折パス」作成と伝達の流れ

【脳卒中パス】

【対象患者】

脳血管障害で入院し、鳥取生協病院・鳥取医療センター・ウェルフェア北園渡辺病院・渡辺病院・智頭病院・岩美病院・尾崎病院・鹿野温泉病院・鳥取産院へ転院する患者

【病棟】



【注意事項】

- *フォルダ入力時は、必ず『マクロ』を有効にしてください
- *担当者の入力はなるべく速やかに、記入漏れのないようお願いします
- *中止の場合、同意書のコピーに月日・コメントを記入し、スキャナし患者ファイルに保管する

様式第20-4 別紙

【大腿骨・転子部骨折】

【対象患者】

大腿骨頸部・転子部骨折（転子下骨折・骨幹部骨折は対象外）で入院、手術適応

連携病院：鳥取生協病院・鳥取医療センター・ウェルフェ北園渡辺病院・尾崎病院・鹿野温泉病院
岩美病院・智頭病院・公立浜坂病院

【病棟】

入院時、医師から患者・家族へパス説明

（地域医療連携課に連絡）

1. 医師・患者が1枚目（1/9）に署名
2. 1枚目（1/9）を2枚コピー、原本はスキャナ取込（病院保管）、コピー1枚と他8枚は患者へ渡す（患者控え）
3. 残り1枚のコピーは退院時に渡す（病棟保管）

病棟看護師

- ・同意書の受け取り＞スキャナ（病棟保管）に提出
- ・地域医療連携課（＞医事課）へ連絡

転院先検討・相談日：家族

- ・転院先へ申込み（診療情報提供書が必要）
- ・家族：相談（面談）日に診療情報提供書を持参

退院前日まで：看護師

- ・『文書一覧』から『修正』で入力
- ・『退院時の日常生活機能評価点数・評価日・急性期経過月日・日常生活評価票』の4点を入力の上『確定印刷』

退院日：看護師

- ・『日常生活機能の評価点数・評価日など入力した地域医療診療計画書（2/9～9/9）、説明同意書（1/9コピー分）、診療情報提供書、リハビリテーション連絡票、看護サマリー』の5点を転院先に持参して頂く（家族に手渡し）

【注意事項】

- * 地域連携計画書（パス書式1/9～9/9 9枚）は電子カルテより編集
- * 説明月日を入力＞『一次保存・作成中』にして、『左下の印刷』で出力
- * 入院日（転科日）から1週間以内に同意書の説明が必要
- * 中止の場合、同意書のコピーに月日・コメントを記入し、スキャナし患者ファイルに保管する

大腿骨頸部・転子部骨折で人工骨頭挿入術・骨接合術を受けられる方へ

今後の治療の流れを説明します

ID: _____ 様 説明日: _____ 説明医 _____

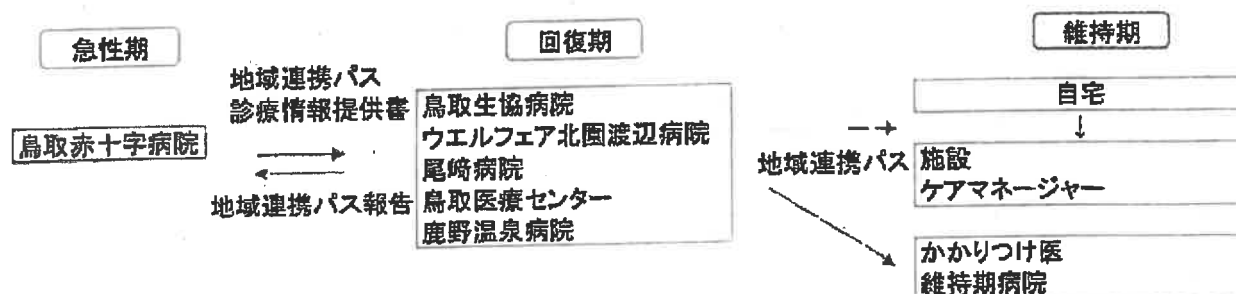
大腿骨頸部・転子部骨折は高齢者に多く、術前の歩行状態を取り戻すまでに長期にリハビリテーションを必要とするケースも少なくありません。

手術後は、自宅退院を目標に切れ間なくリハビリテーションを行います。

転院については病棟で相談をし、状態が安定すれば、その後連携医療機関に連絡を取ります。

調整がついた時点で転院となり、連携医療機関では自宅退院を目標とし、引き続きリハビリテーション等を行っていただきます。

回復期の連携医療機関でのリハビリが終了したら、維持期となり希望される場所への退院となります。



リハビリは段階を追って徐々に進めていきますが、入院前の歩行や移動等の身体状況、手術の方法、その他の合併症により、個人差が見られます。

一般的にこの疾患は入院前の歩行や移動のレベルから1～2段階ほど低下するといわれています。



目安として、歩行が自立出来ていた人は、手術後2週間程度で歩行器歩行が一人で可能であった場合、術後4週間程度で杖歩行が可能となります。

本人又は家族サイン(_____) 説明者 (_____)

鳥取赤十字病院

日常生活機能評価票

氏名

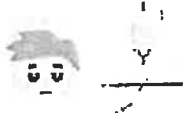
患者の状態	得点		
	0点	1点	2点
床上安静の指示	☐ なし	☐ あり	
どちらかの手を胸元まで持ち上げられる	☐ できる	☐ できない	
寝返り	☐ できる	☐ 何かにつかまればできる	☐ できない
起き上がり	☐ できる	☐ できない	
座位保持	☐ できる	☐ 支えがあればできる	☐ できない
移乗	☐ 介助なし	☐ 一部介助	☐ 全介助
移動方法	☐ 介助を要しない移動	☐ 介助を要する移動（搬送を含む）	
口腔清潔	☐ 介助なし	☐ 介助あり	
食事摂取	☐ 介助なし	☐ 一部介助	☐ 全介助
衣服の着脱	☐ 介助なし	☐ 一部介助	☐ 全介助
他者への意思の伝達	☐ できる	☐ できる時とできない時がある	☐ できない
診療・療養上の指示が通じる	☐ はい	☐ いいえ	
危険行動	☐ ない	☐ ある	
実施日： 年 月 日	合計得点 0 点		

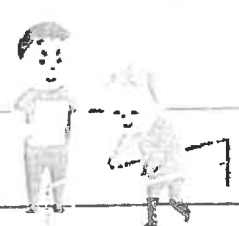
大腿骨頸部・転子部骨折の手術を受けられる方へ

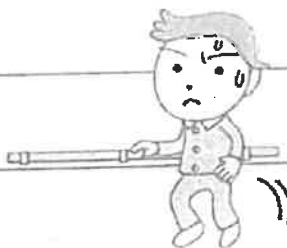
地域連携診療計画書（急性期：鳥取赤十字病院）

患者様氏名： 月／日 経過（病日）	説明日： 入院当日	説明医： 手術前日
達成目標	☐ 病気のことが理解できる ☐ 検査・治療の内容が理解できる ☐ 痛みを伝えることができる	☐ 手術前の処置が理解できる
処置	・血液検査、心電図、レントゲンなどの検査を行ないます ・床ずれを防止するために定期的に体の向きを変えます ・深部静脈血栓症を予防するために、特殊な靴下（弾性ストッキング）を歩行ができるようになるまで（術後2週間を目安）履きます ・牽引を行う場合もあります	
薬・注射	・内服中の薬を確認します ・薬によっては服用を中止します	
食事	・嚥下（飲み込み）の状態を評価し、適切な食事を提供します ・既往歴のある方は（糖尿病・腎臓病・心臓病など）治療食になります ・手術前日に手術予定時間と絶飲食時間をお知らせします	
安静	・痛みに応じてベッド上での坐位が可能です ・ベッド上安静です ・転倒などの危険がある場合には抑制（安全帯）が必要なこともあります	
清潔		・シャワー浴をします ・できない場合は身体拭きを行います
排泄	・おしっこの管を入れることもあります ・オムツ・尿器を使用することもあります ・排便は差し込み便器、またはオムツを使用します	・排便がない場合は浣腸を行います
リハビリ	・可能な範囲で足関節を動かす練習をしましょう ・筋力低下を予防するために下肢訓練を行いましょう ・骨折をしていない足、腕はなるべく動かしましょう	
説明・指導	・入院中の生活について説明を行います ・痛みがある場合は、身体の向きを変えたり痛みどめを使用しますので我慢せずにお知らせください ・神経麻痺症状（しびれ、足の指が動かしにくい）がでたらお知らせください ・食事摂取、歯磨きなど可能なことは自分で行いましょう ・痛みの程度を数字（0から10段階）で表す方法を説明します ・今後在宅介護、退院後の生活について不安や疑問のある方は、看護師に相談してください（介護申請、施設入所など）ソーシャルワーカーと連携します	・手術日の朝までに手術承諾書と麻酔承諾書、必要時輸血同意書に署名をし提出してください ・手術後に使用するリハビリ用の靴、靴下を準備してください

1. 入院期間は現時点で予想されるもので、今後の経過でかわることがあります。
2. 経過（病日）予定は土日祝祭日が間に入ると、変更となることがあります。
3. 転院になる場合、入院中の経過、退院時の状態などは、別紙の紹介状で転院先の病院へ連絡します。

経過(病日)	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日目
達成目標	□処置を理解し協力できる	□鎮痛剤を使用しながら痛みを最小限にできる	□鎮痛剤を使用しながら痛みを最小限にできる
処置		・創部に管がはいります(術式により異なります) ・フットポンプ(観血的空気圧迫装置)を装着します(術式により異なります) ・採血を行います	・採血を行います
薬・注射	・点滴があります	・点滴があります	・点滴があります ・血栓予防の内服が始まります(注射のこともあります。症例により異なります)
食事	・絶飲食です	・水分、食事開始時間は看護師がお知らせします	・手術前と同様の食事が始まります ・嚥下(飲み込み)の状態に応じて食事内容を変更することがあります
安静		・人工骨頭挿入術の場合、ベッド上で三角枕を股関節の間にはさみます	・リハビリが開始になり、ベッドから足を下ろして座ることが可能となります
清潔			・身体拭きを行います
排泄			
リハビリ			・骨折をしていない足、腕は積極的に動かしましょう ・筋力低下を予防するために下肢訓練を行いましょう ・病室でリハビリを行います
説明・指導	・金属類、入れ歯、シップははずしておきましょう	・必要に応じて、主治医より入院中の経過や退院の目安を説明します ・家族との日程調整をしながら、病棟で連携医療機関への転院について相談を行います	・血栓症予防の為に、積極的に足関節を動かしましょう

経過(病日)	手術後2日目	手術後3日目	手術後4～6日目
達成目標	☐ 端座位ができる ☐ 車椅子移乗ができる		☐ 車椅子トイレ、ポータブルトイレへの移乗ができる
処置	・医師がガーゼ交換を行い、創部の管を抜きます	・ガーゼ交換を行います	・ガーゼ交換は汚れた時に行います 
薬・注射	・点滴があります		
食事			
安静			・痛み、足の動きに応じて車いすや歩行器の使用が可能になります
清潔	・身体拭きを行います		・洗髪、手足浴が可能となります ・ウォシュレットの使用も出来る様になります
排泄		・おしっこの管を抜きます ・ポータブルトイレの使用を始めます	・歩行、立位が安定すれば、トイレまで行くことが可能となります
リハビリ	・病室でリハビリを行います ・理学療法士と作業療法士で移乗動作練習を行うこともあります	・リハビリ室からリハビリを行います ・歩行訓練開始	・リハビリ室で歩行訓練を開始します ・理学療法士の許可があれば、病棟でも看護師が付添い歩行練習が可能となります
説明・指導	・ベットから車椅子またはポータブルトイレの移動は看護師と行います	・ベットから車椅子またはポータブルトイレの移動は看護師と行います	・移動が安定するまでは看護師が付き添いますのでナースコールを押してください

経過(病日)	手術後7日目	手術後8~14日目	以降 手術後15日目以降
達成目標	□歩行器歩行ができる	□シルバーカー歩行ができる □杖歩行ができる	□採血とレントゲンで問題なければ退院・転院可能です
処置	・採血、レントゲン撮影を行います	・14日目に採血とレントゲン撮影を行います ・14日目に弾性ストッキングを除去します ・10~14日頃に抜糸をします	
薬・注射			
食事			
安静			
清潔		・抜糸後、翌日よりシャワー浴が可能となります	
排泄			
リハビリ		・足の運動を続けましょう	
説明・指導	・深部静脈血栓症が疑われる場合は、検査、循環器科の診察が追加されます	・家族の方は、歩行状態の確認のためにリハビリ見学にお越しください	・転院になる場合、入院中の経過、退院時の状態などは転院先の病院へ情報提供します

退院時の日常生活機能評価
合計点 0 点

評価日: 年 月 日

主治医: .

病院名: 鳥取赤十字病院

大腿骨頸部・転子部骨折の手術(人工骨頭挿入術・骨接合術)を受けられ転院してこられた方へ
地域連携診療計画書 (回復期)

患者様氏名:

月/日 経過(病日)	入院時~1週	入院後2週
達成目標	・受持ち担当がわかる。 ・病棟の構造、リハビリ・今後の予定等を理解できる。 ・環境になれ不安など軽減できる。	
治療・薬剤	・持参薬の確認をします。 ・症状に応じて医師が薬の調整を行います。	・内服管理出来る方は自己管理を行います。(薬剤師の指導があります)
	・検温可能な方は自己検温を行います。 ・必要に応じて定期的に検査を行います。(血液検査・レントゲンなど)	
食事	・栄養評価を行い状態に応じた食事を開始します。 ・食事摂取状況を確認させていただきます。	
清潔・入浴	・自分で体が拭ける方は拭いていただきます。出来ない方は介助します。 ・入浴評価を行い状態に応じ安全な入浴方法を検討します。(週2回介助入浴を行います) ・1人で入浴できる方はしていただきます。	
整容	・整容評価動作を行い、患者様に合った方法を工夫します。 ・日中はできるだけ洗面に行っていただくように援助します。	
更衣	・更衣動作評価を行い、可能な限り自分で出来ることを増やしていきます。	
排泄	・排泄動作評価を行い、状態に応じた排泄方法を検討します。(尿器・便器・ホータブルトイレ) ・日中はできるだけトイレに行けるように援助します。	・必要時トイレ動作を見守りさせていただきます。 ・ご自分でトイレに行ける方は行っていただきます。
リハビリ	・身体状況を評価し計画を立てて、訓練を開始します。 ・足の力をつけるトレーニングを行います。(立ち上がり訓練など)	
説明・指導	・病棟案内を行います。 ・必要書類、1日の流れなどを説明します。 ・医師から今後の目標・予定について説明があります。 ・定期的に専従医の診察があります。 ・自宅環境についてお伺いします。(医療福祉相談をお受けしています) ・介護保険サービス利用を検討します。 ・お困りの事がありましたらお気軽にご相談ください。	 

月/日 経過(病日)	入院後3~4週	入院後5~6週	入院後7~9週	9週~退院まで
達成目標	・歩行が安定してリハビリの階段を進めることができる。	・日常生活に自信を持ち退院の準備を整えることができる。		・退院後の生活がイメージでき自信がもてる。
治療・薬剤		・引き続き薬の管理を行っていきましょう。 ・内服自己管理の出来ない方はご家族にご指導いたします。		
食事	・必要に応じて、ご本人・ご家族に栄養士による栄養指導を行います。			
清潔・入浴	・ご自宅の入浴環境に合わせた動作訓練を行います。			
整容	・状態に合わせた動作訓練を行います。 			
更衣				
排泄	・ご自宅の排泄環境に合わせた動作訓練を行います。			
リハビリ	・退院後の生活場面・日常動作場面に合った関連動作の訓練を行います。 ・ご本人・ご家族と一緒に退院後の生活動作の確認・指導をしていきます。 ・必要に応じて、家屋調整のため在宅訪問を行います。 ・外出・外泊に向けて指導を行い、外出・外泊を行っていただきます。 ・外出・外泊後の状態を評価し、訓練の追加を行います。 			・退院後のリハビリ指導を行います。 (在宅での訓練、注意点) 
説明・指導	 ・医師から毎月目標、今後のリハビリ等についての説明があります。 ・必要に応じてリハビリカンファレンスに参加していただく場合もあります。 ・ケアマネジャーと連携をとっていきましょう。			・各担当者、受持ち看護師により退院指導を行います。

退院時の日常生活機能評価 合計点 _____ 点

本人又は家族サイン _____ , 説明者 _____

病院名: _____

大腿骨頸部・転子部骨折の手術(人工骨頭挿入術・骨接合術)を受けられた方へ
地域連携診療計画書 (維持期)

患者様氏名:

月/日 経過(病日)	/ ~ /
達成目標	・日常生活が自立し退院の準備ができる。 ・在宅療養生活が送れる。 
治療・薬剤	・お薬を飲んでいる方は継続します。 ・自己管理の出来ない方はご家族に管理していただきます。 ・状況に応じて検査を行い全身の体調管理を行います。 ・急変時は急性期病院へ連携します。 
食事	・栄養士より指導を受けた方は継続します。
清潔・入浴	・活動度に応じて清拭・シャワー・入浴を選択します。 
整容	・活動度に応じて動作訓練を行います。 
更衣	
排泄	・ご自宅の排泄環境に合わせた動作訓練を行います。 ・排泄状況に応じてトイレ、便尿器、おむつ等を決定します。 
リハビリ	・活動度に応じたりハビリ・ケアを受け、安心して入院(入所)、在宅生活が送れるよう指導します。
説明・指導	・ケアマネージャーと連携し相談します。 ・必要に応じて介護保険サービス(通所リハ・訪問介護等)、訪問診療、訪問看護の利用を検討します。 

退院時の日常生活機能評価 合計点 _____ 点

本人又は家族サイン _____)

説明者! _____

説明日(年 月 日)

病院・医院・施設名: _____

